

きゅうしょくだより 1月

1月20日から24日は学校給食週間です。

毎日なにげなく食べている給食ですが、みなさんが食べるまでには、食べ物を作る人や運ぶ人、調理する人など、食べ物にたずさわる多くの人々の手がかかっています。

食べ物に感謝して、できるだけ残さず食べるようしましょう。

感謝して食べましょう。

わたしたち人間は、植物や動物など命あるものを「たべもの」として、その栄養をもらって食べることで生きています。その食べ物の命をいただくことを許してもらうのが「いただきます」のあいさつです。そして、食べ終わったら食べられることに感謝して「ごちそうさまでした」といいましょう。

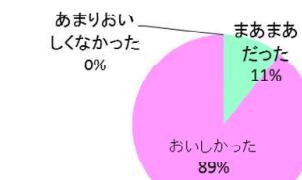
これらのあいさつをきちんとすることが、感謝して食べることの第一歩ですね。

また、他にも「食べ物をそまつにしないで、残さず食べること」や「きちんと後かたづけをすること」「家の食事の準備をてつだうこと」など、感謝の方法はいろいろあると思いますので、さがしてやってみましょう。

給食試食会アンケート結果

* 11月に赤津小の1年生で行われた親子給食の際に、アンケート調査を行った結果です。

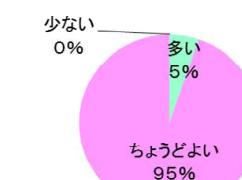
質問1 給食を食べてみていかがでしたか。



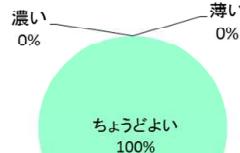
質問2 給食の量について(ごはん)



質問3 給食の量について(おかず)



質問4 給食の味付けは?



* 食育の授業も行われました。

平成26年
栃木市都賀学校給食センター
所長 手塚 宏夫
栄養士 山根 教子
高木 貴子



給食の歴史を知ろう!



* 給食のはじまり(今から125年前)

山形県鶴岡市の忠愛小学校で、貧しい子どもたちに

学校給食が実施されました。献立は、「おにぎり・

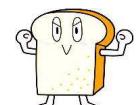
・焼き魚・漬物」で、無料で実施されました。

* 戦後の学校給食 再開

戦後の食糧難の中、アジア救済公認団体

の援助で、学校給食が実施されました。

1月24日を「学校給食記念日」としました。

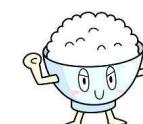


* コッペパンの給食

パンの給食が中心で、ミルクは脱脂粉乳をお湯で溶いた物でした。鯨肉の竜田揚げも昭和40年代まで、牛肉や豚肉のかわりに出ていました。

* ソフトめんの給食

ミルクが牛乳になり、ソフトめんが給食に登場しました。果物の缶詰なども給食に出るようになりました。



* 米飯の給食

米飯給食が始まり、おかずの種類が増えました。

* 現在の学校給食

主食はごはんやパン、おかずは

和風・中華風・洋風と種類も豊富です。

地場産物の野菜や肉などをたくさん使った給食です。

地元の生産者のみなさんのご協力で、地場産物をたくさん使った給食です。

